



2016年11月17日

2017年3月期

第2四半期

決算説明会資料

株式会社アイネット

[東証1部:9600]



1. はじめに(会社概要)

2. 2017年3月期2Q業績概要

3. 当社Grpの事業方針・強み

4. 業界環境・当社Grpの概況

5. 中期計画・通期業績予想

次第	プレゼンター	所要時間
はじめに	取締役 本社統括 内田 直克	約15分
2017年3月期2Q 業績概要		
当社グループの 事業方針・強み	代表取締役社長 梶本 繁昌	約20分
業界環境 当社グループの概況		
中期計画・通期業績予想		
質疑応答		

inet 会社概要(2016年10月1日現在)

- 商 号 株式会社アイネット
- 設 立 1971年4月22日
- 本 社 横浜市西区みなとみらい3-3-1
- 資本金 3,203百万円
- 創業者 取締役会長 池田 典義
- 代表者 代表取締役社長 梶本 繁昌
- 子会社
株式会社ISTソフトウェア
株式会社アイネット・データサービス
- 社員数 1,336名(連結)
895名(単独)
- 事業所／支店／データセンター
東京事業所 札幌支店、仙台支店、中部支店
大阪支店、中四国支店、福岡支店
第1データセンター、第2データセンター





1. はじめに(会社概要)

2. 2017年3月期2Q業績概要

3. 当社Grpの事業方針・強み

4. 業界環境・当社Grpの概況

5. 中期計画・通期業績予想

inet 2017年3月期第2四半期業績概要(連結)

(単位:百万円・%)

	2016年3月期-2Q		2017年3月期-2Q		前年同期比
	金額	比率	金額	比率	増減額
売上高	11,975	100.0	12,268	100.0	+292
売上原価	9,292	77.6	9,380	76.5	+87
売上総利益	2,683	22.4	2,888	23.5	+204
販管費	1,866	15.6	1,961	16.0	+95
営業利益	816	6.8	926	7.6	+109
経常利益	775	6.5	886	7.2	+110
親会社株主に帰属する 四半期純利益	473	4.0	589	4.8	+116

過去最高

サービス区分別販売実績・営業利益(連結)

(単位:百万円)

	2016年3月期-2Q		2017年3月期-2Q		増減額	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
					金額	金額
情報処理サービス	4,738	416	4,862	490	① +123	+73
(営業利益率)		8.8%		10.1%	—	+1.3P
システム開発サービス	6,847	379	6,923	414	② +76	+34
(営業利益率)		5.5%		6.0%	—	+0.5P
システム機器販売	389	19	482	22	+92	+2
(営業利益率)		5.1%		4.6%	—	△0.5P
合計	11,975	816	12,268	926	+292	+109
(営業利益率)		6.8%		7.6%	—	+0.8P

(主な要因)

- ①クラウドサービスやメーリングサービスが好調で増収・増益
- ②金融業向けのシステム開発が増加し、増収増益

(注)営業利益については当社独自の簡便法で作成しており、数値は参考値(目安)とさせていただきます。

(単位:百万円・%)

	2016年3月末		2016年9月末		前期末比
	金額	構成比	金額	構成比	増減額
流動資産	8,593	34.2	8,903	34.9	① +310
固定資産	16,516	65.8	16,610	65.1	+93
資産合計	25,110	100.0	25,514	100.0	+403
流動負債	5,734	22.8	6,043	23.7	② +309
固定負債	7,582	30.2	7,247	28.4	③ △335
負債合計	13,316	53.0	13,290	52.1	△26
純資産	11,793	47.0	12,223	47.9	+430
負債・純資産合計	25,110	100.0	25,514	100.0	+403

(主な要因)

- ①売掛金の増146百万円、棚卸資産の増56百万円、前払費用(保守料)等増110百万円
- ②買掛金の増205百万円、短期借入金の増(1年未満返済予定の長期借入金含む)30百万円
- ③長期借入金の減316百万円
- ④利益剰余金の増343百万円、有価証券差額金の増93百万円

(単位:百万円)

	2016年3月期-2Q	2017年3月期-2Q	前年同期比
	金額	金額	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	435	① 1,159	+723
投資活動によるキャッシュ・フロー	△222	△464	△242
財務活動によるキャッシュ・フロー	△197	② △707	△509
現金及び現金同等物の増減額	+16	△12	△28
現金及び現金同等物の期首残高	2,533	2,696	+162
現金及び現金同等物の期末残高	2,549	2,684	+134

(主な要因)

- ①獲得……利益および減価償却による内部留保1,586百万円
使用……売掛債権の増146百万円、法人税等の支払い487百万円
- ②有利子負債の減少285百万円、リース債務の返済159百万円、配当金支払い245百万円



1. はじめに(会社概要)

2. 2017年3月期2Q業績概要

3. 当社Grpの事業方針・強み

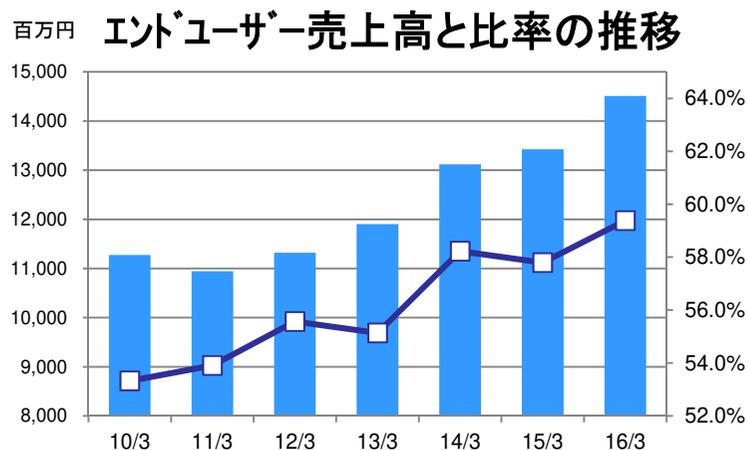
4. 業界環境・当社Grpの概況

5. 中期計画・通期業績予想

■ 事業方針

◆ エンドユーザー志向

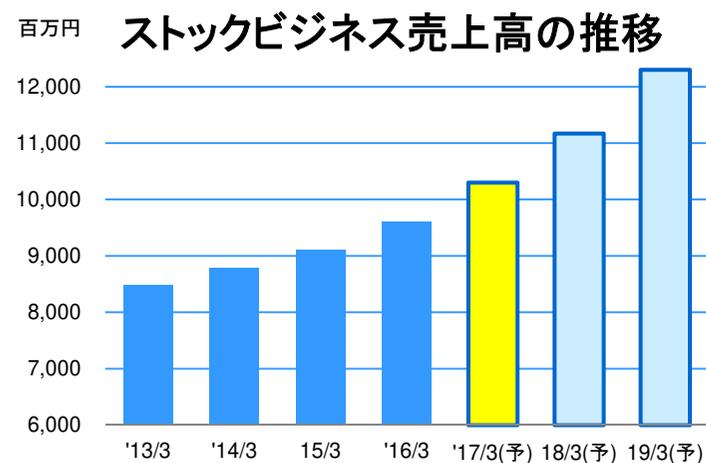
- ・お客様に選ばれ信頼関係を構築
- ・多面的な取引の実現



エンドユーザーとは
システム等を利用するユーザー企業と
直接契約のこと。

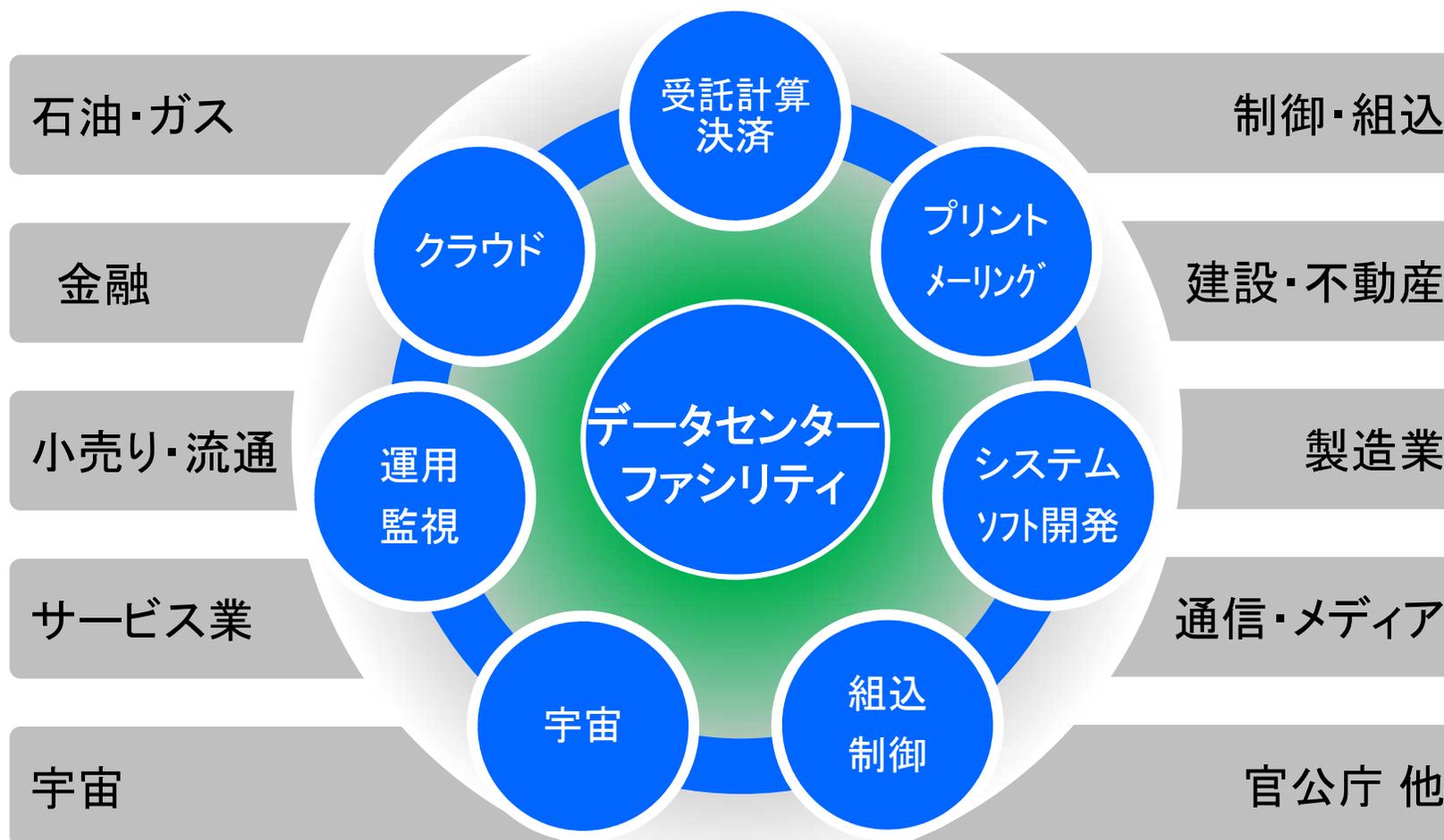
◆ スtockビジネスの拡大

- ・継続的な売上／利益の確保
- ・一人当たり利益の増加



Stockビジネスとは
いわゆる継続契約型ビジネスのこと。
当社では情報処理サービスを指す。

様々なサービスをお客様のビジネスに合わせ連携
データセンターに巻き込み、ストックビジネスへ展開





1. はじめに(会社概要)

2. 2017年3月期2Q業績概要

3. 当社Grpの事業方針・強み

4. 業界環境・当社Grpの概況

5. 中期計画・通期業績予想

■国内IT市場

●ITサービス市場

2020年に5兆8,062億円へ成長

(2015~20年の年平均成長率1.5%)

2016年金融／公共がピークアウトするものの

今後はIoTやデジタルマーケティング／

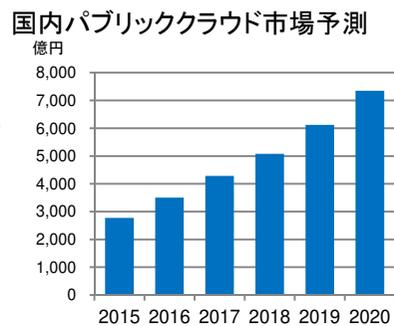
ビッグデータ活用が市場成長けん引

●国内パブリッククラウドサービス市場

2020年に7,346億円へ成長

(2015年の2,711億円から2.7倍)

企業のIT基盤として利用拡大



IDCジャパン資料より当社集計



10/2 日本経済新聞

■ITトレンド

⇒企業はビジネスの「効率化」と「革新」両面で

更なる成長や生き残りのための戦略的IT投資を拡大加速

石油元売 石油小売業		<ul style="list-style-type: none"> ・SS減少傾向の中シェアUPに向けての取組継続 ・元売り統合の影響は追い風
製造業 制御・宇宙		<ul style="list-style-type: none"> ・円高進むもシステム投資堅調 ・医療機器分野に注力 ・宇宙基本計画に沿って人工衛星の打ち上げ増加 ・IoT案件対応
金融業		<ul style="list-style-type: none"> ・クレジット／カードローン向けシステム開発好調 ・活動基準原価計算(ABC)システム引合い好調
小売流通業、他		<ul style="list-style-type: none"> ・大型案件終息で一服感 ・コンビニ向け開発案件堅調
データセンター クラウド サービス		<ul style="list-style-type: none"> ・クラウドサービス基盤を刷新(SDDC) ・ドローンを活用したIoTのプラットフォーム事業へ参入 ・個人情報保護、DC+プリント／メーリングで差別化推進 ・IaaSやSaaSの海外展開

▶ IoT→ビッグデータ→AI



▶ ドローン

測量／画像データなど
ビッグデータを蓄積し解析する

▶ M&A

新規技術獲得／規模の拡大





1. はじめに(会社概要)

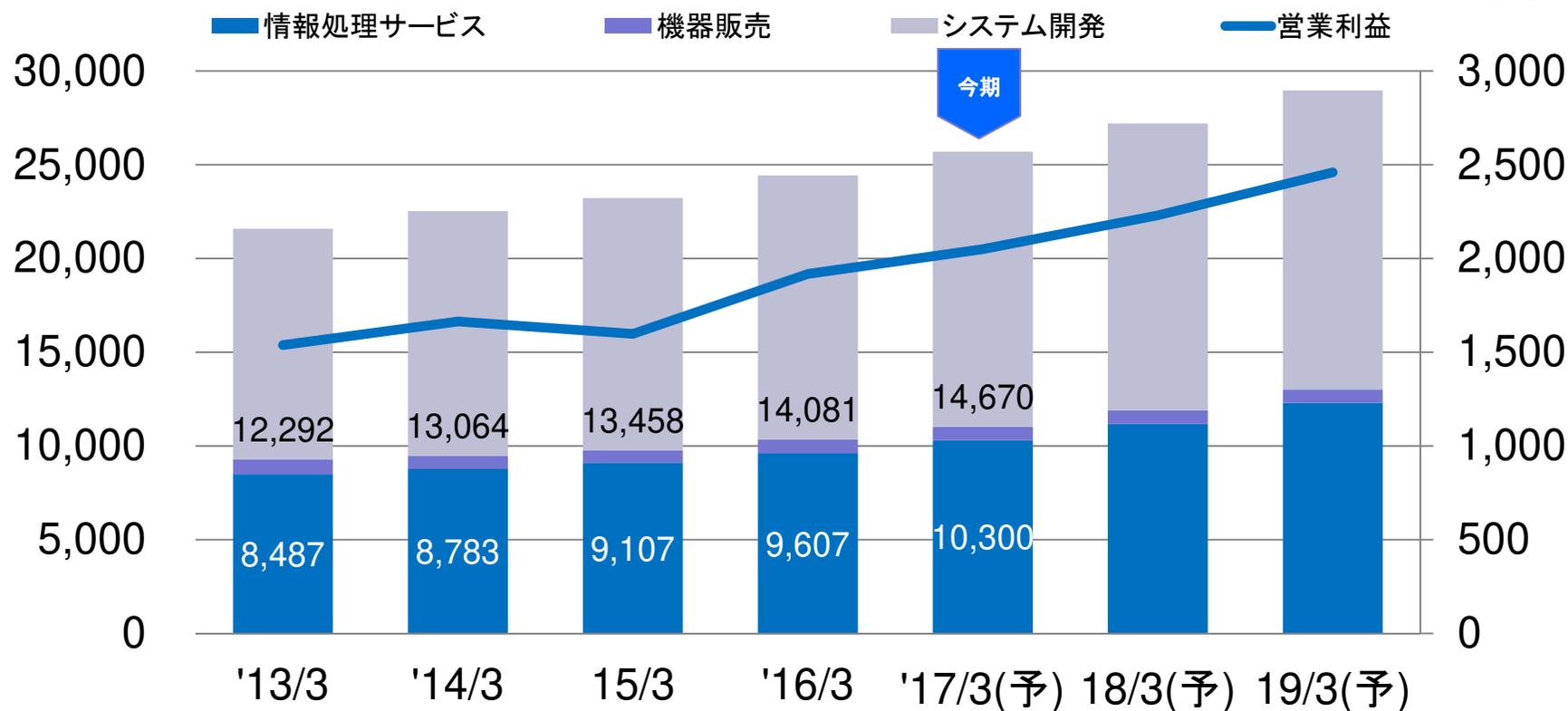
2. 2017年3月期2Q業績概要

3. 当社Grpの事業方針・強み

4. 業界環境・当社Grpの概況

5. 中期計画・通期業績予想

(単位:百万円)



売上高	21,587	22,528	23,229	24,434	25,700	27,200	28,970
営業利益	1,538	1,664	1,598	1,918	2,050	2,230	2,460
ROE	10.7%	9.5%	8.8%	9.4%	10.5%	10.8%	11.2%

過去最高

（単位：百万円・％）

	2016年3月期		2017年3月期		前期比
	金額	比率	金額	比率	増減額
売上高	24,434	100.0	25,700	100.0	+1,266
売上原価	18,731	76.7	19,500	75.9	+769
売上総利益	5,702	23.3	6,200	24.1	+498
販管費	3,783	15.5	4,150	16.1	+367
営業利益	1,918	7.9	2,050	8.0	+132
経常利益	1,838	7.5	1,950	7.6	+112
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,114	4.6	1,280	5.0	+166
1株当たり利益(円)	69.7	—	80.5	—	+10.8

過去最高

※16年10月1日に対1.1の株式分割を行っております。

前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり利益」を算出しております。

inet サービス区分別 売上・営業利益予想(連結)

(単位:百万円)

	2016年3月期		2017年3月期		増減額	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
情報処理サービス	9,607	958	10,300	1,007	① +693	③ +48
(営業利益率)	—	10.0%	—	9.8%		
システム開発サービス	14,081	917	14,670	1,008	② +589	+90
(営業利益率)	—	6.5%	—	6.9%		
システム機器販売	746	42	730	35	△16	△7
(営業利益率)	—	5.7%	—	4.8%		
合計	24,434	1,918	25,700	2,050	+1,266	+132
(営業利益率)	—	7.9%	—	8.0%		

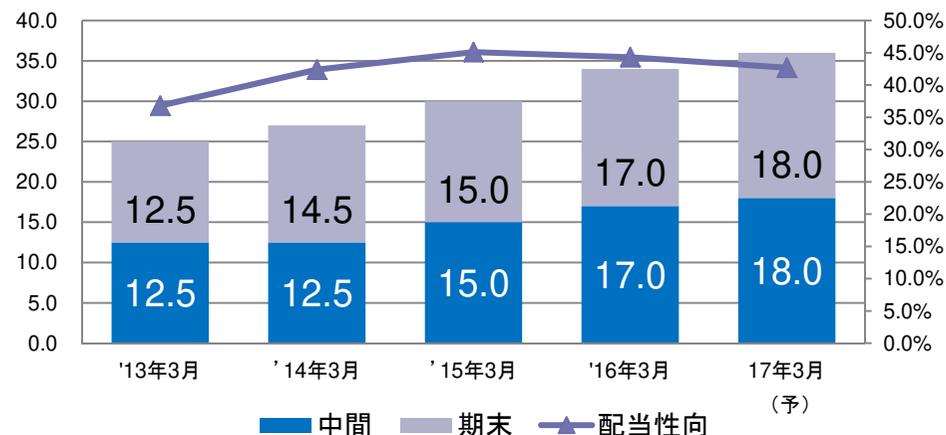
- ① データセンタービジネスやメーリングサービスが好調で増収
- ② システム需要は2016年も継続、増収増益
- ③ 先行投資・ライセンス償却に対応

(注) 営業利益については当社独自の簡便法で作成しており、数値は参考値(目安)とさせていただきます。

（単位：百万円・％）

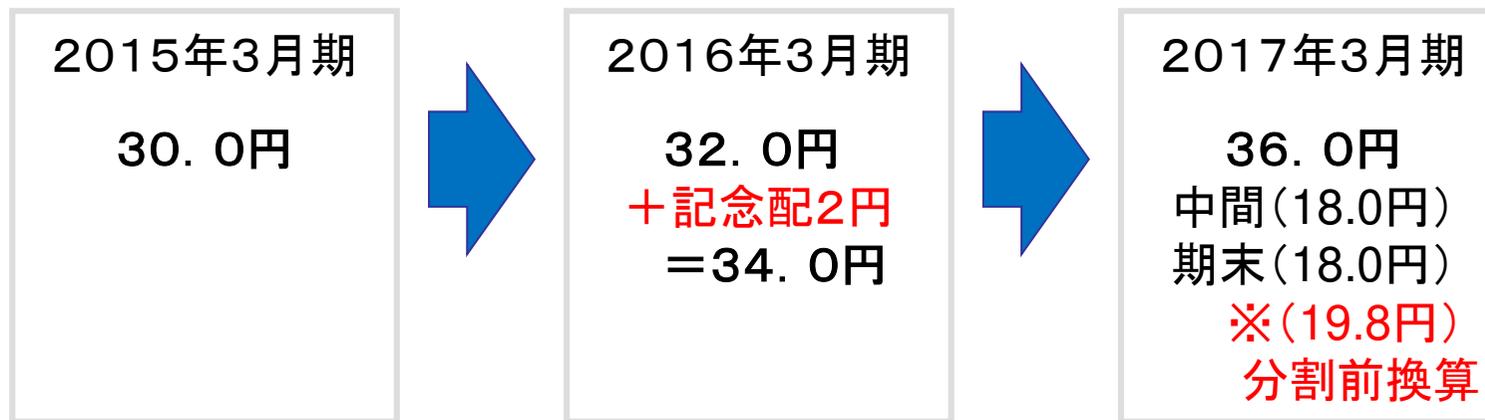
	2016年3月期2Q		2017年3月期2Q		前期比	2017年3月期		進捗率
	金額	比率	金額	比率	増減額	金額	比率	
売上高	11,975	100.0	12,268	100.0	+292	25,700	100.0	47.7
売上原価	9,292	77.6	9,380	76.5	+87	19,500	75.9	48.1
売上総利益	2,683	22.4	2,888	23.5	+204	6,200	24.1	46.6
販管費	1,866	15.6	1,961	16.0	+95	4,150	16.1	47.3
営業利益	816	6.8	926	7.6	+109	2,050	8.0	45.2
経常利益	775	6.5	886	7.2	+110	1,950	7.6	45.4
親会社株主に帰属する 当期（四半期）純利益	473	4.0	589	4.8	+116	1,280	5.0	46.0

《配当方針》
 将来の資金需要に備え
 内部留保しつつ
 安定配当を継続実施



2016年9月30日を基準日とする1対1.1の株式分割を実施
 期末の1株当たり配当金を据え置き**実質増配**

1株当たり年間配当金の計画(5期連続増配予定)



継続的な安定成長

トレンドBiz

ステークホルダー重視

本日はご多用中にもかかわらず
説明会にお越しいただき誠に
ありがとうございました。



当資料は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合がありますことを、予めご承知頂きますようお願い申し上げます。

当資料に掲載されているサービスおよび商品などは、株式会社アイネットあるいは各社の登録商標または商標です。

お問い合わせは、下記連絡先までお願い致します。

企画部 経営企画・IR課

TEL 045-682-0808

E-Mail contact_ir@inet.co.jp

URL <https://www.inet.co.jp>